

科目名	体育 I				担当	渡邊 真也		
形態	講義・実技	単位数	1	開講時期	1 年前期	実務経験	—	
必修	(総) 卒業：必修 中免：必修 司教：必修				ナンバリング	KG101	DPとの 関連	(幼) 1 (総) 1・2
授業概要	スポーツを媒体とし、多くの人とかかわりを持ち、相手を思いやり助け合ったり安全に注意しルールを守り楽しくスポーツを行う。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・個人スポーツ、グループスポーツを行い、多くの人とコミュニケーションをとることができる。 ・ルール・道具の工夫により、スポーツを、いつでも、どこでも、誰とでも楽しむことができる。 ・自分の体・心と向き合い、気づく。 							
授業計画	回	内容						
	1	ガイダンス：授業方針、評価について説明、体育・身体活動の必要性について理解する						
	2	自分の体を知る：ストレッチング・筋トレの必要性、コミュニケーションゲームなどで体と心をほぐす (チームビルディング)						
	3	さまざまな鬼に遊び体験：鬼ごっこの楽しさを体験し、身体活動を高める						
	4	スポーツ鬼ごっこ：鬼ごっこを競技として体験し、グループ内でのコミュニケーションを図る						
	5	バドミントン：基本動作の習得とルールの確認						
	6	バドミントンⅡ：ネットを張り各班でゲームをし勝者を決定する						
	7	バドミントンⅢ：3ポイントゲームでより多くの人とゲームする事でコミュニケーションを図る						
	8	バレーボール：ボール慣れ・基本動作の習得 (パス)						
	9	バレーボールⅡ：ボール慣れ・基本動作の習得 (サーブ・スパイク)						
	10	バレーボールⅢ：試合を通してボールを繋ぎ、仲間との協調性を養う						
	11	バレーボールⅣ：道具 (ボール・ネット) を変え、ルールも変える						
	12	キンボール：基本動作の習得とルールの理解						
	13	キンボールⅡ：試合を通して個人の役割、チームの役割について検討し試合に活かす。						
	14	フライングディスク or ドッチビー：基本動作の習得とルールの理解						
15	まとめ：日常的に実施できるスポーツについて検討し、どのように取り入れるか運動習慣向上に向けた計画書づくり							
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にスポーツにとりくんでいるか ・目的に向かって協力し合っているか 							
評価方法	授業態度 40% (服装・積極性) レポート 30% その他 30% (対人関係能力)							
フィードバック 方法	実技についてはその都度個別で実施 課題は返却時に講評する							
アクティブ ラーニング	練習方法の考案による実技、試合までグループ決め							
教科書	必要に応じて資料を配布							
参考書	特になし							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に相応しい身支度で授業に臨むこと ・グループ活動では、学生同士目的に向かって協力し合い授業に臨むこと 							
授業外学習	事前学習：授業計画で示されたスポーツのルールについて調べる 事後学習：日常生活にとり入れたり、スポーツを楽しむ							
オフィスアワー	学生支援課を通じた対応 (授業前後の対応可)							